



チーフストラテジスト 瀧山裕二の Weekly Letter

第28回「IMF(国際通貨基金)の世界経済見通し改訂版(2024年7月)」

7月16日、IMF（国際通貨基金）より世界経済見通しの7月改訂版が発表されました。今週はこの「世界経済見通し」についてお伝えします。

～世界経済の成長率予測～

裏面の表をご覧ください。この表は今回の見通しを抜粋したものです。

世界経済の成長率予測は2024年が3.2%、2025年が3.3%となり、前回4月時点の予測と比べて24年は修正なしでしたが、25年は0.1%ポイント（Pt）上方修正されました。この要因は地域別では先進国・地域は24年1.7%成長、25年1.8%成長と前回と同じ成長率予測となりました。一方、新興市場国・開発途上国は、24年4.3%成長、25年4.3%成長と24年、25年ともに成長率を0.1%Pt上方修正されました。この要因として、中国やインドの景気回復を挙げています。

～主要国の経済成長予測～

国別では、米国の成長率は24年が2.6%成長、25年が1.9%成長と予測されています。年初の成長が予想を下回ったことが反映され、24年の成長率が0.1%Pt下方修正されました。また、25年については労働市場が冷え込み、消費が減速することを予想して成長率が1.9%まで鈍化すると予測しています。

一方、ユーロ圏については24年0.9%成長、25年1.5%成長と前回より24年で0.1%Pt上方修正、25年は修正なしでした。24年を上方修正した要因は、今年上半期のサービス業の増勢や好調な輸出を反映し、景気が底を打ったと想定したことです。

日本経済は24年0.7%成長、25年1.0%成長と予測、前回と比べ24年を0.2%Pt下方修正、25年は修正なしでした。24年を下方修正した要因は、認証不正問題で一部の自動車会社の生産がストップした影響を勘案したことです。今春闘の大幅賃上げが下半期以降に個人消費の好転を支えるという見方をしています。

中国経済は、24年5.0%成長、25年4.5%成長と前回と比べて、24年、25年ともに0.4%Pt上方修正しました。上方修正の要因は第1四半期に個人消費の回復が見られたことや輸出が好調であったことなどが挙げられます。ただ、中期的には高齢化と生産性の伸び悩みなどのため、2029年までに3.3%成長へ減速すると予測しています。

インド経済は、24年7.0%成長、25年6.5%成長と前回と比べ24年で0.2%Pt上方修正、25年は修正なしでした。上方修正の要因は前年の成長率の上方改定の影響や農村地域を中心とした個人消費の増大が見込まれることです。

ブラジル経済については、24年2.1%成長、25年2.4%成長と前回と比べて24年の成長を0.1%Pt下方修正、25年を0.3Pt上方修正しました。24年を下方修正した要因は洪水による悪影響を考慮したものです。一方、25年の上方修正は洪水後の復興需要や植物由来の燃料生産を加速させることなどを反映し予測を上方修正しました。今後の世界経済に対するリスクとしては、サービス部門のインフレ状況が継続するリスクや貿易摩擦や各地の紛争激化により原燃料や生産部材などの輸入コストが上昇するリスクを指摘しています。また、今年の各国の選挙結果によって、経済政策が大きく振れる可能性が高まっており、世界経済全体に対する不確実性が高まっていることも指摘しています。

EUやフランスの議会選挙で右派政党が躍進し、EUの分断の懸念が高まっていることや11月の米国大統領選挙の結果次第では世界の分断が進む懸念もあります。今後、国際政治の混乱から金融市場に大きな負の圧力がかかることも考えられます。このような世界情勢の変化をIMFがどのように「世界経済見通し」に反映させていくのかに注目しています。引き続きこの経済見通しをチェックしてまいります。

世界経済見通し(WEO)による成長率予測 (%)			
地域・国名	2023年	2024年(予測)	2025年(予測)
世界	3.3(0.1)	3.2(0.0)	3.3(0.1)
先進国・地域	1.7(0.1)	1.7(0.0)	1.8(0.0)
米国	2.5(0.0)	2.6(-0.1)	1.9(0.0)
ユーロ圏	0.5(0.1)	0.9(0.1)	1.5(0.0)
日本	1.9(0.0)	0.7(-0.2)	1.0(0.0)
新興市場国・発展途上国	4.4(0.1)	4.3(0.1)	4.3(0.1)
中国	5.2(0.0)	5.0(0.4)	4.5(0.4)
インド	8.2(0.4)	7.0(0.2)	6.5(0.0)
ブラジル	2.9(0.0)	2.1(-0.1)	2.4(0.3)

(注)インドについてはデータと予測が財政年度ベース(4月～翌年3月)で表示

※2024、2025年は予測値。

カッコ内は前回(2024年4月)からの改定幅(%ポイント)

(国際通貨基金 2024年7月改訂版参照)

(西村証券 作成)